

見守り
新鮮情報

ふたや内容物が 飛ぶことも！ 圧力鍋の使用に注意

約15年前に購入した圧力鍋で
豆を煮ていたところ、突然
大きな音とともに
ふたとおもりが
飛び、顔と頭を
縫うけがをした。
圧力鍋の
ふたの手入れ
が不十分だった
可能性がある。
(60歳代 女性)



©Kurosaki Gen

ひとこと助言



- 圧力鍋は調理に便利な一方で、正しく使わないと、思わぬ事故が起きることがあります。必ず取扱説明書に従って使いましょう。
- 蒸気口など圧力調整部分が詰まった状態で使うと、ふたが飛んだり内容物が噴き出たりすることがあります。使用前は、異物が詰まっているか、ふたがしっかり閉まるかなどを確認しましょう。使用後の手入れもしっかり行いましょう。
- 亀裂などの劣化がみられるパッキンは使わず、新しいものと交換してください。
- 豆類などの皮のある食品やカレー・シチューなどの粘性の高い食品は、圧力調整部分に詰まる可能性があります。取扱説明書などで分量や調理方法を確認してください。
- 購入する際は、国が定めた安全基準に適合していることを示すPSCマークや、電気圧力鍋の場合は、合わせてPSEマークの表示があるか確認しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第402号（2021年9月7日）発行：独立行政法人国民生活センター

米子市消費生活相談室

☎ 0859(35)6566